

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 7月 18日

【評価実施概要】

事業所番号	3271600524		
法人名	株式会社 ピュアライフ島根		
事業所名	グループホーム 暖談		
所在地	島根県出雲市大社町遥堪666 (電話) 0853-53-5303		
評価機関名	しまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43番地		
訪問調査日	平成20年7月10日	評価確定日	平成20年7月31日

【情報提供票より】 (平成20年 6月13日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 10 月 15 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤6人, 非常勤2人, 常勤換算4.7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有 100000円			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1300円	

(4) 利用者の概要 (6月13日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	2名	要介護2	3名			
要介護3	0名	要介護4	2名			
要介護5	2名	要支援2	0名			
年齢	平均	86歳	最低	81歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上野医院 藤江歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者は友人との囲碁や面会を楽しんだりキリスト教の礼拝をする等、趣味や生活習慣が尊重された生活を送っている。「インフォメーションシート」の活用で、問題行動と映っていた利用者の行動に「理由がある」ことに気付き、対処方法を変更したことで行動が変わった事例がある。職員の姿勢も能動的となり、ケア内容が着実に向上している。「笑って過ごせる、最期まで暮せる」支援をと職員全員に意欲的な姿勢があり、今後に期待したいホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	①地域とのつきあい、②外部評価の活用、③職員の育成、④外出支援、⑤食事を楽しむための支援の課題に対し、管理者の牽引や運営推進会議の検討を踏まえ改善した。防災対策の強化や諸規定の改善が残されている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員が書ける所を記入し全職員で検討した後、主任や管理者がまとめた。明らかになった課題は、管理者の研修テーマとも連動され、「職員の課題に向き合う姿勢」も生まれる等、やる気や様々な改善を生み出した。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	諸行事や利用者の状況等が報告され、外部評価結果や看取りの確認書、個人情報保護、地域密着型サービス、地域とのむすびつき、家族交流会等を議論している。参加者から具体的で積極的な意見が寄せられ多くのことに取り組んだ。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会時や毎月、暖談新聞や担当者が書いた手紙で利用者の様子を報告している。家族が石見銀山観光やバーベキュー等に参加して交流したり、家族の要望で面会簿を個人用に変更したりしているが、意見や要望の引き出しは十分とはいえない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議の意見を受け、地域との交流に意識的に取り組んでいる。広報の配布や地域の運動会や溝掃除に参加する中で会話が弾んだり、事業所の行事で使用するテントや椅子も地区の物を借用する等、地区住民との結びつきが強まってきた。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	笑顔で暮らすことを大切にした理念を全職員で作成したが、地域密着型サービスについて運営方針に明記されていない。	○	地域密着型サービスの考え方について運営方針や理念に盛り込んで頂きたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティングでケアが理念にもとづいているか点検したり、全体会の場でも運営者から常に理念が話され、職員間で共有されている。「笑」の文字が入ったユニホームを着用し、職員相互の確認にもなっている。	○	日頃の支援の実際や理念とそぐわない表現がある。ユニット増設の機会に禁止用語や禁止行為等の見直しを行って頂きたい。
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	広報を作成し地域や役場、駐在所、同業者等に職員が持参した。事業所の諸行事等で使うテントや椅子も地区の物を借用したり、溝掃除や運動会に参加したり、図書館に出かけたりと住民との交流が深まってきた。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員で評価項目を分担しミーティングで話し合った後、管理者がまとめた。課題が明確になったり、利用者ときちんと向き合えるようになる等、ケア内容にも向上が見られた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月に一回開催し、諸行事や利用者の状況報告をはじめ、外部評価結果や看取りの確認書、個人情報等、積極的な意見交換があり、運営やサービスの向上に反映されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者や支援センター職員とは困った事例や「看取りケア」について相談して助言をもらったりする関係にあり、サービス向上や運営に活かしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の暖談新聞や利用料請求書に担当者が利用者の様子を書いた手紙を同封している。金銭も面会時に確認してもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	何でも言ってもらえるよう職員の方から声掛けしているが、意見等を言いにくい職員もいる。面会時間等の苦情に対し、みんなで話し合い改善した。	○	家族への日常の声掛けをはじめ、さらに意見や苦情を引き出すために家族交流会やアンケート等にも取り組んで頂きたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日頃よりデイサービスとは行き来していて利用者や職員は馴染みの関係がある。日々のケアは担当者だけでなく職員全員で行い、ダメージを防ぐよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	他団体の年間研修計画を参考に職員の希望や段階に沿った計画を立てた。研修後の報告や内部の学習も定期的に行っている。資格取得にも力が入られ、職員も意欲を持っている。	○	立てられた研修計画が実行されるよう、運営者の協力を望みたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症グループホーム連絡協議会の勉強会に職員が交互に参加している。他市同業者との交流はあるが近隣とはなく、手始めとして暖談広報紙を近隣同業者に配布した。	○	連絡協議会を基点にして考えられている近隣同業者間の交流の実現に期待したい。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者や家族に入居前に見学してもらって利用を開始している。併設のデイサービスがあり、職員や利用者は馴染みの関係ができている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	花の手入れの仕方や野菜の切り方、一つのことを大事にすること等、多くのことを利用者から教わっている。掃除や洗濯物干し等利用者が出来ることを引き出し支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居時に思いや希望を聞いたり、顔の表情や言動で把握している。インフォメーションシートの活用で思いや意向を具体的に把握でき、介護計画に反映できるようになった。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>受け持ちがインフォメーションシートで利用者や家族の思いや要望を聞き出し、モニタリングやミーティングを実施した後、管理者が介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>利用者の状態が変化した場合は、都度見直している。ケアは日々ミーティングで確認し合っているが、見直しは三～六ヶ月となっている。利用者の状態が具体的にわかるよう書式を変更した。</p>	○	<p>一ヶ月に一回の見直しに期待したい。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>受診時の同伴をはじめ、要望により、馴染みの美容院や外出、外泊時の送迎にも柔軟に対応している。医療連携体制加算も取られ、健康や医療の相談等にも対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者個々の希望により入居する前のかかりつけ医に受診している。専門医とも連携し必要な医療が受けられる体制が取られている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ガン末期の方を自宅で食事をしてもらう等、家族と協力しながら看取りを行った。ホームで最後まで暮せるようにとの考えのもと、看取り確認書を作成し家族全員に記入してもらった。	○	経験を活かし、さらに看取り内容を充実させたり、全職員が不安なく支援できる対策を立てて頂きたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	部屋に入る際のノックの徹底や「こうしたい」という本人の意志を引き出すような対応に心掛けている。学習会の実施や全体会でも振り返っている。家族の要望で個人用の面会簿に変更した。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活パターンに合わせた支援を行っているが、利用者が職員に迷惑をかけたくないと感じている様子を感じることがある。	○	規定に「日課の励行」の項がある。掲げている理念や日々行っている支援とそぐわない表記であり、利用者の家庭的で自由な生活を保障する上からも変更が望ましい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	車椅子使用の人にもできるテーブル拭きや盛り付けをはじめ、各自の役割に応じて片付けや食器洗い等を行っている。利用者が希望した柄のランチョンマットが敷かれ、職員と一緒に同じ食事を和やかに食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	夜間を含め毎日入浴できる体制があり、希望時間に沿うようにしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	デイサービスで友人と囲碁に興じたり、畑の作物を収穫したり、掃除等の家事する等、利用者の興味や特技を活かした生活となっている。5人の方が新聞を読んでいて、大きな事件が話題となった。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩できる人は固定しているため、全員が外出できるよう毎月希望を取り入れて計画を立てている。図書館へ本を借りに行ったり、歴史本や植木鉢を買いに行ったりと「行きたい所」への支援に取り組んでいる。		
。					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠し、センサーを使用している。利用者のその日の状態を良く把握して、見守りを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り 組みを 期待し たい項)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練や消火器、火災報知器の使い方等の訓練を行っている。職員は実際面で動けるかと訓練の回数や大切さを自覚している。地域に向けた広報紙で「協力」を呼びかけた。	○	地域の方との合同訓練を実施するため、運営推進会議での検討を期待したい。備蓄品を3日分、確保して頂きたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日把握している。水分は時間毎に声を掛けて摂取を促したり、自室にお茶やポットを用意し自分で飲む方がいる。バランスの取れた献立である。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールは吹き抜けで明るい広々とした開放的な空間となっている。利用者が買った植木鉢や観葉植物が飾られ、利用者の多くはホールでゆったりと過ごしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みのある箆笥や水屋、テーブル、椅子等が持ち込まれ家庭的な居室となっている。窓から畑の作物の出来具合を見て季節の移ろいを実感される利用者も居られ、心地よく過ごされている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。